

単元名：消費生活と市場経済

契約と消費生活

(全4時間扱い中 第2時)

授業日時 令和3年10月21日(木) 第1校時

授業学級 3年C組

授業会場 3年C組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

消費者問題が起きている背景には、消費者が持っている商品・サービスに関する情報や知識の量が販売者(生産者)よりも少ないという、消費者の立場の弱さがあるということを理解できる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：消費者問題が起こる要因を調べる。
- ・活動：消費者と生産者の力の差に着目して調べる。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 資料の読み取りから学習問題を設定する。	○「資料を見て気が付いたことや疑問はありますか。」 ◇パワーポイントで提示する資料から気が付いたこと、疑問に思ったことを問い、学習問題を設定する。	15
	【学習問題】なぜこんなにトラブルが起きているのだろう。		
	2. 学習問題に対する予想を立て、学習課題を設定する。	○「学習問題に対する予想を書きましょう。」 ◇予想と予想を確かめる方法を確認し、学習課題を設定する。	
【学習課題】消費者と生産者(販売者)の立場に着目して考えよう。			
展開	3. 予想に基づいて読み取る。	○「追究資料から読み取れたことを、学習カードに記入しましょう。」 ◇一つ一つの資料の読み取りが終わっている生徒には、関連している内容を矢印で結び、複数の資料を関連付けて読み取るように助言する。	15
	4. 資料を読み取り、分かったことを発表する。	○「資料からどのようなことが読み取れましたか。」 ◇発表された意見を矢印や線で結び、資料から読み取れる事象の関連が捉えやすいように構造的に板書する。 【評価】消費者問題が起きている背景には、消費者が持っている商品・サービスに関する情報や知識の量が販売者(生産者)よりも少ないという、消費者の立場の弱さがあるということを理解している。(観察・学習カード)	10
終末	5. 本時の学習を振り返る。	○「学習問題に対する答えを学習カードのまとめの欄に記入しましょう。」	10